

# 第7編 青少年教育

## 第1章 青少年教育の推進

### 第1節 概 況

人間性豊かで創造性に富んだ、心身ともにたくましい青少年を育成するため、多様な体験活動やボランティア活動を促進するとともに、地域活動・団体活動や野外活動の一層の充実に努めた。

## 第2章 心豊かでたくましい青少年の育成

青少年の自立と社会参加を促進し、心豊かでたくましい青少年を育成するため、市町村や関係機関・団体と連携を図りながら次の事業を実施した。

### 第1節 自然とふれあう事業

#### 1 青少年自然体験推進事業

##### (1) 親子体験活動

各青少年自然の家において、自然体験や生活体験等様々な体験活動を通して、子どもたちの感受性や自主性、社会性を育てるとともに、親子での協働作業や共通体験により、親子の「きずな」を深めた。

(内容)

野外炊事やテント泊等の生活体験活動、登山・星座観察等の自然体験活動 等

##### (2) 自然体験活動

各青少年自然の家の特色を生かした体験活動機会を提供することで、県民に自然体験活動の普及、啓発を図った。

(内容)

入所学校利用者説明会、オープンデー、野外炊事等による自然体験活動 等

##### (3) 宿泊自然体験活動

子どもたちの社会性や生きる力を育むため、異年齢集団を編成し、テント泊や野外炊事等の生活プログラム、動植物観察や冒険プログラム等、3～4日間の体験活動の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、宿泊を伴わない自然体験活動事業を代替で実施した。

(会場・期日・参加者数)

| 会場        | 期日                | 参加者数 |
|-----------|-------------------|------|
| 北毛青少年自然の家 | 8月9日～12日（3泊4日）中止  | —    |
| 妙義青少年自然の家 | 8月2日～5日（3泊4日）中止   | —    |
| 東毛青少年自然の家 | 8月22日～24日（2泊3日）中止 | —    |

### 第2節 地域における体験活動

#### 1 青少年自立支援事業

様々な要因で社会（学校を含む）とうまく関われない青少年（児童生徒を含む）を対象に、様々な体験活動の場を提供し「社会性」を育む事業に取り組んだ。

### (1) ぐんまいいききチャレンジ

障害等、様々な要因で社会とうまく関われない青少年（児童生徒を含む）やその保護者を対象に、年間延べ8日間、自然体験や生活体験等、様々な体験活動を通して「社会性」を育むとともに、心の居場所づくりを図る事業を実施した。

#### ア 会場・実施回数・参加者数

(ア) 北毛青少年自然の家

全3回開催（延べ3日間）参加者数49名

(イ) 妙義青少年自然の家

全3回開催（延べ3日間）参加者数15名

(ウ) 東毛青少年自然の家

全2回開催（延べ2日間）参加者数34名

#### イ 内容

クラフト製作、野外炊飯、野外ゲーム、登山、天体観察、キャンプファイヤー、保護者同士の情報交換会等

### (2) 青少年自立・再学習支援事業（通称 G-SKY Plan）

（公財）群馬県青少年育成事業団に業務を委託し実施。不登校等、様々な悩みを抱える青少年を対象に、相談活動や体験活動等を通して自立を支援した。

相談等件数 1,398件、体験活動延べ人数 28人

進路相談会 8月30日（日）、10月11日（日）

## 第3節 社会参加活動

### 1 青少年ボランティア活動支援

#### (1) 青少年ボランティア体験

主に夏休み期間中等、北毛・妙義・東毛青少年自然の家において高校生等がボランティア活動を体験する機会の提供に努めた。

参加者：320名（延べ人数）

#### (2) 青少年ボランティア養成

ボランティア活動に興味関心のある青少年などを対象に研修を行い、ボランティアとは何か、ボランティア活動を行う際の心構えや留意点等について、講義・演習等を通して学んだ。また、青少年自然の家で利用者への指導や指導補助を行ったり、施設整備や環境整備を行ったりするボランティアの養成も併せて実施した。

会場・期日・参加者数

| 会場        | 期日            | 参加者数 |
|-----------|---------------|------|
| 北毛青少年自然の家 | ① 9月13日（日帰り）  | 10名  |
|           | ② 9月22日（日帰り）  | 2名   |
|           | ③ 9月26日（日帰り）  | 中止   |
| 妙義青少年自然の家 | ① 10月31日（日帰り） | 20名  |
|           | ② 11月1日（日帰り）  | 13名  |
| 東毛青少年自然の家 | ① 1月30日（日帰り）  | 中止   |
|           | ② 1月31日（日帰り）  | 中止   |

### 2 青少年団体の育成

青少年が集団の中で自己を確立し、地域社会の人々との連帯感を醸成する上で青少年団体が果たす役割は大きい。また、青少年団体が各種の活動を通じて、青少年に社会生活に必要な規範やルー

ルを身に付けさせるための多様な経験の機会を提供することは、大変有意義であることから、全県的な組織を持つ青少年団体が行う事業に対して支援を行った。

(公社)群馬県子ども会育成連合会ほか2団体への事業費補助金 総額1,170千円

## 第3章 青少年教育施設の整備充実

### 第1節 概況

#### 1 青少年教育施設の管理運営状況

青少年教育施設として施設を設置し、北毛・妙義・東毛青少年自然の家は地域機関として県直営で、青少年会館は指定管理者制度を導入して公益財団法人群馬県青少年育成事業団(旧 財団法人群馬県青少年会館)が指定管理者として管理運営を行っている。

#### 2 各施設整備状況

令和2年度は、北毛青少年自然の家の地下タンク内面ライニング工事、妙義青少年自然の家の揚水ポンプ交換工事、ボイラー防食装置交換工事、東毛青少年自然の家の管理棟及びプレイホール玄関前タイル修繕工事、青少年会館のプレイホール雨漏り修繕などを実施し、快適で利用しやすい施設整備に努めた。

#### 3 各施設利用状況

令和2年度各施設利用状況

(単位：人)

| 施設名       | 4月    | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 群馬県青少年会館  | 506   | 0      | 1,558  | 1,468  | 980    | 1,400 | 1,768 | 1,495 | 1,116 | 1,084 | 1,483 | 2,015 | 14,873 |
| 北毛青少年自然の家 | 0     | 0      | 395    | 275    | 146    | 617   | 1,187 | 553   | 127   | 8     | 0     | 62    | 3,370  |
| 妙義青少年自然の家 | 0     | 0      | 0      | 29     | 267    | 113   | 720   | 687   | 65    | 0     | 50    | 54    | 1,985  |
| 東毛青少年自然の家 | 0     | 0      | 88     | 232    | 232    | 343   | 1,735 | 1,470 | 269   | 0     | 0     | 344   | 4,713  |
| 合計        | 506   | 0      | 2,041  | 2,004  | 1,625  | 2,473 | 5,410 | 4,205 | 1,577 | 1,092 | 1,533 | 2,475 | 24,941 |
| 令和元年度     | 7,070 | 13,288 | 13,379 | 10,726 | 11,599 | 6,946 | 9,948 | 7,810 | 4,732 | 3,123 | 4,037 | 1,313 | 93,971 |
| 前年度比      | 7%    | 0%     | 15%    | 19%    | 14%    | 36%   | 54%   | 54%   | 33%   | 35%   | 38%   | 188%  | 27%    |

年度別利用者実績

(単位：人)

|           | 24年度    | 25年度    | 26年度    | 27年度    | 28年度    | 29年度    | 30年度    | R1年度   | R2年度   |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|
| 青少年会館     | 43,006  | 40,686  | 46,391  | 44,815  | 47,631  | 46,401  | 48,053  | 42,231 | 14,873 |
| 北毛青少年自然の家 | 16,946  | 25,026  | 23,374  | 22,838  | 23,398  | 20,083  | 14,479  | 14,055 | 3,370  |
| 妙義青少年自然の家 | 19,839  | 15,905  | 15,092  | 15,038  | 13,137  | 13,035  | 12,190  | 10,730 | 1,985  |
| 東毛青少年自然の家 | 30,405  | 30,419  | 29,313  | 29,242  | 29,863  | 28,310  | 29,099  | 26,955 | 4,713  |
| 計         | 110,196 | 112,036 | 114,170 | 111,933 | 114,029 | 107,829 | 103,821 | 93,971 | 24,941 |

### 第2節 群馬県青少年会館

#### 1 概況

群馬県青少年会館は、昭和57年6月に青少年を主な対象とする都市型宿泊研修施設として開館した。施設は、前橋市の北部に位置し、敷島公園、県総合運動場、県総合スポーツセンター、群馬大学農牧キャンパス等に囲まれた静かなたたずまいの中にある。平成18年4月より指定管理者制度が導入され、公益財団法人群馬県青少年育成事業団(旧 財団法人群馬県青少年会館)が管理・運営

を行っている。

## 2 業務

県内唯一の青少年及び青少年団体活動の拠点施設としての特色を生かしながら、利用者の視点に立った施設運営を展開している。

また、青少年関係情報に関する情報発信機能の充実に努めるとともに、県・市町村教育委員会をはじめ、青少年団体、学校等との連携を図り、青少年及び成人を対象とした「青少年健全育成事業」「青少年自立・再学習支援事業」など、様々な事業を実施した。

### 令和2年度実施事業

|  | 事業名   | 事業の概要   |
|--|---|---|
| 指定管理事業   |   |   |
| ア<br>青少年<br>指導者・ボ<br>ラン<br>ティ<br>ア<br>養<br>成<br>事<br>業             | 1 子どもとふれあいスキルアップ講座<br>【実施日】2月27日<br>※ライブ配信  | 子どものいる場所に関わっている(または関心のある)青年を対象に、子どものよりよい関わり方や距離感、「遊び」に対する考え方を学び、地域活動に積極的に関わる人材を育成するための講座を実施した。<br>※コロナ禍のためライブ配信に変更<br>【受講者】青少年活動指導者、青少年団体指導者等43名  |
|  | 2 子どもを未来に導く指導者セミナー<br>【予定日】2月28日<br>※中止   | 地域青少年活動指導者や青少年団体指導者・青少年活動に関心のある方を対象に、指導者として地域活動の活性化に寄与できる人材を養成するためのセミナーを企画した。<br>※コロナ禍のため中止   |
|  | 3 ボランティア体験講習会<br>【実施日】<br>動画配信：6月25日～3月31日  | 県内の大学生を対象としたボランティアに関する知識や技術を習得させ、地域でのボランティア活動を体験しながら、学生のボランティア活動の推進を図る機会を提供した。<br>※コロナ禍のためYouTubeによる動画配信に変更<br>【視聴回数総計】1,093回   |
|  | 4 中学生・高校生交流ボランティア体験<br>【予定日】8月22日～8月23日<br>※中止  | ボランティアの入門として、中高校生に対して近隣地域で開催されるイベントにボランティアとして関わる機会を提供し、ボランティアに関する知識や技能を高めると共に、実践活動を通して参加者同士の交流を図る事業を企画した。<br>※ボランティア体験予定のイベント中止に伴い中止  |
|  | 5 体験活動・ボランティア活動支援センター<br>【実施日】通年  | ボランティア活動を希望する青少年等と、ボランティアを必要とする学校や子ども会、その他の団体とのコーディネートを行った。【相談件数】3件<br>【ボランティア参加者数】1名   |
| イ<br>青<br>少<br>年<br>の<br>交<br>流<br>・<br>体<br>験<br>活<br>動<br>事<br>業 | 6 ふれあい・ゆうあい交流フェスタ<br>【予定日】実行委員会：4回<br>事前研修：10月17日 ※中止<br>交流フェスタ：10月18日<br>※中止                 | 心のバリアフリーと温かな社会の実現を目指し、障がい者とボランティアスタッフとが共にふれあい、共に活動する楽しさを体験し、ボランティア活動を推進するためのフェスティバル開催を企画した。<br>※コロナ禍のため中止   |
|  | 7 親子ふれあい会館ロジ<br>①おやこ木工教室<br>②秋の工芸教室<br>【実施日】<br>①動画配信：7月21日～9月7日<br>②半日開催二日間<br>10月24日、10月25日 | 小学生の親子を対象に、1泊2日の体験活動を通して子どもの創造性・社会性を育むとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深める事業を企画した。<br>※コロナ禍のため①の事業は動画配信(親子サマーチャレンジ：木工・竹細工・作って遊ぼう&飾ろう・親子の絆プログラム)に変更、②の事業は半日開催(一日目：手芸教室、二日目：工芸教室)に変更<br>①【視聴回数総計】937回<br>②【参加者】一日目：10組21名、二日目：10組20名 |
|  | 8 国際交流推進事業<br>【予定日】11月28日～11月29日  | 小学生に対し、留学生等との交流活動を通して異国文化に触れ、自国との違いを感じ取る機会を提供すると共   |

|   |    |   |   |
|---|----|---|---|
|   |    | ※中止   | に、宿泊を伴うプログラムを通して参加者同士の交流を深める事業を企画した。<br>※コロナ禍のため中止  |
|   | 9  | 夏休みキッズスクール<br>【実施日】<br>動画配信：7月21日～9月7日  | 大学生ボランティア等による夏休み学習支援を行うと共に、魅力ある体験交流活動を提供することで、小学生が夏休みの楽しい思い出の一つになるよう企画した。<br>※コロナ禍のため、親子ふれあい会館ロッジ(おやこ木工教室)との合同開催で動画配信を行った。<br>【視聴回数総計】937回  |
| ウ<br>成<br>及<br>少<br>年<br>指<br>導<br>団<br>体<br>事<br>業<br>育      | 10 | 青少年団体活動支援事業<br>①「夏休み宿題お助け隊」<br>②「親子もちつき体験」<br>③「目指せ！ギネス記録！～君の飛行機はどこまで飛ぶ～」<br>④「ボランティアのつどい」<br>【予定日】①8月2日：中止<br>②1月24日：中止<br>③2月7日：中止<br>④3月13日：中止<br>⑤「あそぼう まなぼう わくわくぶくろ」<br>【実施日】8月19日～3月12日 | 各青少年団体との連携を深め、共催事業や連携事業を企画・運営しながら、各青少年団体の活性化や指導力向上を支援した。<br>コロナ禍のため①～④の4事業は中止となった。代わりとして、群馬県青少年団体連絡協議会に加盟する5団体が、各団体のPRを兼ねたチラシと手作り作品の材料を袋詰めして準備し、「あそぼう まなぼう わくわくぶくろ」として配布する事業を行った。わくわくぶくろの完成品と作り方を館内ロビーに設置するとともに、来館する子どもたちへの事業周知と配布について支援した。<br>【配布数】71袋 |
| エ<br>シ<br>情<br>報<br>収<br>集<br>事<br>業<br>・<br>情<br>報<br>提<br>供 | 11 | ぐんま青少年ねっと<br>【実施日】通年  | ホームページ・ブログ・SNSにより、青少年会館及び青少年健全育成事業の情報を発信した。また、学習情報コーナーを設置して会館利用者に対してインターネットが利用できるパソコンの無料開放を行い、青少年の情報活用の推進を図った。<br>※コロナ禍のため学習情報コーナーは、4月15日から閉鎖した。<br>【参加者】学習情報コーナー利用者 2名   |
| 委託事業  |    |   |   |
| 青<br>少<br>年<br>自<br>立<br>・<br>再<br>学<br>習<br>支<br>援<br>事<br>業 | 12 | G-SKY Plan<br>【実施日】通年<br>進路相談会<br>第1回：8月30日<br>第2回：10月11日   | 不登校等、様々な悩みを抱える青少年及びそれらの保護者等を対象に、相談活動の実施や様々な体験活動を通じて青少年の自立を支援した。併せて、再学習のための各種情報を収集・提供した。<br>相談等件数1,398件<br>体験活動 28件<br>【特記事項】体験活動コーディネーター6名を配置し、関係機関や団体等の協力を得て、体験活動ができる場を提供するとともに、相談に応じることができた。  |
|   | 13 | 地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業<br>【実施日】<br>令和2年4月1日～<br>令和3年3月20日  | 高校中退者等を対象に高等学校卒業程度の学力を身に付けるための学習相談及び学習支援を行った。<br>学習相談 電話・メール 567件 面談 95件 計662件<br>学習支援 支援日 計60日<br>参加実人数 9名(延べ138名)   |

### 第3節 北毛青少年自然の家

#### 1 概況

北毛青少年自然の家は、昭和43年4月、県下4番目の青年の家として設置され、青年の家と少年自然の家の機能を併せ持つ青少年教育施設として「北毛青年の家」の名称で運営してきた。

施設は、子持山・小野子山の鞍部に位置する標高700mの高原にあって、約15haの広大な敷地と300名を収容する教育キャンプ場・体育館・総合グラウンド・野外施設等を有している。豊かな緑と恵まれた自然環境の中で、野外活動や登山、オリエンテーリング、各種スポーツなどが体験でき

る最適の場である。

平成22年4月1日、「北毛青少年自然の家」に名称を変更した。

## 2 業務

北毛青少年自然の家は、青少年の自己啓発や望ましい人間関係に寄与するため、その機能を最大限に発揮し、青少年の社会連帯感の高揚、豊かな情操のかん養、心身ともに健全な青少年育成に努め、青少年のみならず多くの利用者の期待に応えている。

### 令和2年度実施事業

|   | 事業名   | 事業の概要   |
|---|---|---|
| 1 | 入所学校利用説明会<br>【実施予定日】4月14日(火)<br>※中止   | 入所希望学校を対象に、施設やフィールド、プログラムの理解を図るとともに、プログラミングについての研修。<br>【参加予定者】学校教諭等 35名   |
| 2 | ぐんまいいききチャレンジ<br>北毛フレンドリークラブ2020<br>【実施日】<br>①7月18日(土)<br>②10月7日(水)<br>③12月5日(土)<br>④1月23日(土) ※中止  | 様々な要因により社会とうまく関われない青少年に対して、自然体験や生活体験・共同体験を通して心の居場所づくりを行った。また、様々な要因により社会とうまく関われない子どもを抱える親に対してはカウンセリングや情報交換等を行い心の安定を図るとともに親同士の交流を深めた。<br>【参加者】49名(児童生徒 18名、保護者等 31名)  |
| 3 | 青少年ボランティア養成<br>【実施日】<br>①9月13日(日)<br>②9月22日(火)<br>③9月26日(土) ※中止   | 講義や演習等を通して、ボランティア活動の意義や留意点を学ぶとともに、地域社会の一員として積極的に社会貢献へ取り組もうとする青少年を育成することをねらいとして実施した。<br>【参加者】高校生 12名   |
| 4 | 青少年ボランティア体験<br>「夏休み高校生施設ボランティア」等<br>【実施日】夏季休業中等   | 夏季休業中の高校生にボランティア体験や社会参加の機会を提供し、主体性や社会性を育むことをねらいとして実施した。<br>【参加者】高校生等 延べ69名  |
| 5 | 宿泊自然体験活動<br>北毛キッズキャンプ<br>「ふれあい・感動・夢体験」<br>【実施予定日】<br>事前学習 7月5日(日)<br>本学習 8月9日(日)<br>～12日(水)※中止  | 北毛の豊かな自然の中で、3泊4日の宿泊体験やキャンプ生活を通して、様々な体験活動や協働作業・共通体験をすることにより、子どもたちの社会性や生きる力の育成を図る。<br>【募集人数】小・中学生 40名   |
| 6 | 親子体験活動<br>①親と子のバードウォッチング<br>【実施予定日】5月9日(土)<br>※中止<br><br>②親子キャンプ<br>【実施日】<br>9月19日(土)～20日(日)<br><br>③親と子の星空の夕べ<br>【実施日】<br>11月7日(土)～8日(日) | ①北毛の豊かな自然の中で生きる野鳥たちを双眼鏡で探しながら、鳴き声や姿を身近に感じ、その生態や観察の方法などについて学ぶ。<br>【募集人数】親子 20名<br>①初心者向けの親子キャンプ。野外炊事やテントの設営・撤収の基礎を習得し、テント泊を楽しみながら、親子の「ふれあい」を深めた。<br>【参加者】小学生とその家族等 18名<br>②親子で望遠鏡を操作し星空観察をしながら、自然の神秘と偉大さを感じるとともに、科学に対する豊かな感性を育てるとともに、親子で協働作業や共通体験をすることにより、親子の「ふれあい」を深めることができた。<br>【参加者】小学生とその家族等 29名 |
| 7 | 自然体験活動推進<br>①北毛キッズキャンプ<br>【実施日】<br>①8月8日(土)<br>②8月9日(日)<br>③8月10日(月)<br><br>②北毛ふれあい塾<br>【実施日】   | ①北毛の豊かな自然の中で、日帰りプログラムを通して、様々な体験活動や協働作業・共通体験をすることにより、子どもたちの社会性や生きる力の育成を図ることをねらいとして実施した。(宿泊体験活動の代替事業)<br>【参加者】①小・中学生 10名(WR、ブーメラン作り)<br>②小・中学生 12名(棒巻きパン、植物WR)<br>③小・中学生 15名(小野子山登山)<br>②自然の豊かさや地域の人材を活用し、ふだんあまりできない体験を通して、子どもたちの居場所をつくとともに、心   |

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | ①11月3日(火)<br>②11月28日(土)<br>③12月12日(土)<br>④12月19日(土) 中止<br>⑤1月30日(土) 中止<br>⑥2月6日(土) 中止<br>⑦2月13日(土) 中止 | 豊かでたくましい子どもの育成をねらいとして実施した。<br><b>【参加者】</b> ①21名 (ブーメラン)<br>②18名 (ダッチオープンピザ)<br>③18名 (餅つきと昔遊び)<br>④ (おっきりこみとミニ門松作り)<br>⑤ (棒巻きパン)<br>⑥ (サンドブラスト)<br>⑦ (冬のハイキング) |
| 8 | 群馬県民の日記念事業<br>①「親と子の紅葉登山」<br><b>【実施日】</b> 10月26日(土)<br><br>②オープンデー<br><b>【実施予定日】</b> 2月27日(土)<br>※中止  | ①初心者向けの親子登山。親子で紅葉の登山を楽しみながら、登山や自然の楽しさを味わうとともに、その留意点を学んだ。<br><b>【参加者】</b> 33名<br>②普段北毛青少年自然の家で行っている人気のプログラムを誰でも体験できる「オープンデー」。<br><b>【参加予定者】</b> 一般県民           |

## 第4節 妙義青少年自然の家

### 1 概況

妙義青少年自然の家は、昭和46年8月に「妙義少年自然の家」の名称で設置された。妙義荒船佐久高原国定公園内の名勝妙義山の山麓自然林(標高416m)の中に位置し、豊かな自然に囲まれ、四季を通して野鳥をはじめ多くの動植物の姿が見られる。近くには、日本三奇勝の一つに数えられる奇岩・怪石で知られている石門群、文化財豊富な妙義神社、45種5千本の桜の木で知られる「さくらの里」、妙義のゆかりある絵画を展示している「富岡市立妙義ふるさと美術館」や自然関連の特有な展示をしている「自然史博物館」などがある。

平成22年4月1日、「妙義青少年自然の家」に名称を変更した。

### 2 業務

自然に恵まれた環境の中で、青少年に集団宿泊や野外活動を体験させ、体力づくり、創作活動、自然探索、奉仕活動などを通して情操や社会性が培われるよう取り組んでいる。

#### 令和2年度実施事業

|   | 事業名  | 事業の概要   |
|---|--|---|
| 1 | 利用学校指導者研修会<br><b>【実施日】</b> 4月14日(火)<br>※中止   | 施設利用希望学校を対象に、野外活動や宿泊活動等に必要<br>な指導技術の研修を行う。<br><b>【参加予定者】</b> 32名  |
| 2 | 親子登山(新緑の妙義登山)<br><b>【実施日】</b> 4月18日(土)<br>※中止  | 親と子で妙義登山を通して、青少年の健全育成を図るとと<br>もに、親子のきずなを深める。<br><b>【募集人数】</b> 中級コース30名、初級コース50名                                 |
| 3 | 青少年施設ボランティア体験<br><b>【実施日】</b> 中学校・高等学校<br>の夏季休業中の10<br>日間  | 社会参加を促すために夏季休業中等を利用して施設ボラン<br>ティア活動を実施した。<br><b>【参加者】</b> 中学生・高校生 133名  |
| 4 | 宿泊自然活動体験<br>妙義キッズ・アドベンチャー<br>「仲間と挑む4日間」<br><b>【実施日】</b><br>事前学習 7月13日(土)<br>本学習 8月4日(日)<br>~7日(水)※中止 | テント泊や野外炊事体験等、様々な体験活動を実施。リー<br>ダー役として、高校生や大学生に子どもたちと活動を共にし<br>てもらい、ボランティアグループ等の協力を得て、グループ<br>の連帯感や他人を思いやる心などを培う。 |
|   | 妙義サマーチャレンジ<br>※キッズ代替事業<br><b>【実施日】</b> 8月9日(日)   | 夏の妙義の自然を生かして「沢登り体験」に家族で取り組<br>み、達成感を味わうことができた。<br><b>【参加者】</b> 家族 16名<br>※8月8日(土)も実施予定であったが雨天のため中止              |
| 5 | 親子キャンプ   | 親子でテント泊を体験し、沢遊びや木工クラフトを楽しむ  |

|    |  |  |
|----|--|--|
|    | <b>【実施日】</b><br>① 8月29日(土)～30日(日)<br>② 9月5日(土)～6日(日)   | 活動を通して、親子のきずなを深めることができた。<br><b>【参加者】</b> ①家族 20名<br>②家族 17名  |
| 6  | ぐんまいいききチャレンジ<br>「妙義フレンドリークラブ」<br><b>【実施日】</b><br>①10月2日(金)<br>②10月6日(火)<br>③11月10日(火)                                      | 様々な要因で社会とうまく関われない青少年に自然体験や交流活動を通して生活に生きがいや目的意識を持たせることをねらいとして実施し、達成感を味わいながら自己肯定感を育むことができた。<br><b>【参加者】</b> ① 5名(児童生徒2名、指導者3名)<br>② 5名(児童生徒2名、指導者3名)<br>③ 5名(児童生徒2名、指導者3名) |
| 7  | 青少年ボランティア養成<br><b>【実施日】</b><br>①10月31日(土)<br>②11月1日(日)   | 講義や実技などの研修を通して、地域社会の一員としてボランティアや社会貢献しようとする青少年を育成することをねらいとして実施した。<br><b>【参加者】</b> ①高校生・大学生等 20名<br>②高校生・大学生等 13名  |
| 8  | 親子登山②③<br>「紅葉の妙義登山」<br><b>【実施日】</b><br>②11月7日(土)<br>③11月8日(日)  | 親と子で妙義登山を通して、青少年の健全育成を図るとともに、親子のきずなを深めることができた。<br><b>【参加者】</b> ②家族 48名<br>③家族 49名  |
| 9  | 自然の家体験フェスタ<br><b>【実施日】</b> 11月15日(日)   | 施設を開放し、自然の家で行っている体験活動を提供することで、楽しみながら施設の活動周知や実体験の重要性を理解してもらうことをねらいとして実施した。<br><b>【参加者】</b> 一般県民 125名  |
| 10 | チャレンジ in 妙義<br>「大の字登山」<br><b>【実施日】</b> 12月5日(土)  | 妙義山の醍醐味である鎖場登山を通して、親子のきずなを深めることができた。<br><b>【参加者】</b> 家族 15名  |
| 11 | 冬期ホリデー事業<br><b>【実施日】</b><br>①12月7日(土)<br>②12月8日(日)<br>③ 1月23日(土) ※中止<br>④ 1月30日(土) ※中止<br>⑤ 2月13日(土) ※中止<br>⑥ 2月27日(土) ※中止 | 冬期の施設利用促進と、冬の妙義山を体験してもらうことをねらいとして実施した。親子やグループで協力して門松作りに取り組み、満足感を得ていた。<br><b>【参加者】</b> ①家族 16名<br>②家族 18名<br><b>【募集人数】</b> ③6家族<br>④6家族<br>⑤6家族<br>⑥6家族                   |

## 第5節 東毛青少年自然の家

### 1 概況

東毛青少年自然の家は、昭和54年11月に「東毛少年自然の家」の名称で開所した。大間々扇状地の中に分離丘陵として島状に連なる八王子丘陵のほぼ中央に位置し、アカマツ、コナラ、クヌギ林に囲まれた中にある。

八王子丘陵は、古生層をはじめ、金山流紋岩、藪塚凝灰岩などから構成されており、動植物の種類も多く自然観察に適している。近くには、茶臼山ハイキングコース、スネークセンター、北山・西山古墳、岩宿遺跡などの学習環境にも恵まれ、多くの団体が利用している。

平成22年4月1日、「東毛青少年自然の家」に名称を変更した。

## 2 業務

### 令和2年度実施事業

|    | 事業名  | 事業の概要  |
|----|--|--|
| 1  | 利用団体指導者研修会<br>【実施日】<br>① 4月15日(水)中止<br>② 7月22日(水)  | 講義や実習を通して、利用団体引率指導者の資質向上と効果的な施設利用を促進することをねらいとして実施した。<br>【参加者】利用予定団体指導者 ①中止 ②51名  |
| 2  | 青少年ボランティア養成<br>【実施日】<br>① 1月30日(土)中止<br>② 1月31日(日)中止   | 講義や実技を通して、地域におけるボランティアの意義や心構えを学ぶとともに施設ボランティアを養成する。<br>【募集人数】高校生・大学生等 25名   |
| 3  | 宿泊自然活動体験<br>東毛キッズキャンプ<br>「チャレンジインサマー」<br>【実施日】<br>事前学習 7月18日(土)中止<br>本学習 8月20日(木)<br>～22日(土)中止 | テント泊や野外炊事等の生活体験活動、登山等の自然体験活動を通して、子どもたちに社会性や自主性を培う。<br>【募集人数】小学生 40名  |
| 4  | 青少年ボランティア体験<br>「高校生等施設ボランティア」<br>【実施日】<br>7月～12月の土日祝日<br>長期休業中等                                | 青少年に主催事業や入所団体活動支援、施設環境整備等、ボランティア体験の機会と場を提供し、主体性や社会性を育むことをねらいとして実施した。<br>【参加者】高校生等 延べ86名  |
| 5  | 親子デイキャンプ①②<br>～初心者限定編～<br>【実施日】<br>① 8月29日(土)<br>② 8月30日(日)                                    | キャンプ体験初心者の親子を対象に、野営や野外炊事などのアウトドア体験活動を実施することで、保護者の野外活動に関するスキルアップを図るとともに、親子のふれあいやきずなを深める一助とすることをねらいとして実施した。<br>【参加者】①親子 19名<br>②親子 17名           |
| 6  | 親子デイキャンプ③④<br>～経験者OK編～<br>【実施日】<br>③ 9月5日(土)<br>④ 9月6日(日)                                      | 野営や野外炊事などのアウトドア体験活動を実施することで、保護者の野外活動に関するスキルアップを図るとともに、親子のふれあいやきずなを深める一助とすることをねらいとして実施した。<br>【参加者】③親子 15名<br>④親子 16名                            |
| 7  | 青少年自立支援<br>「ぐんまいいききチャレンジ」<br>【実施日】<br>①11月19日(木)<br>②12月16日(水)                                 | 様々な要因で社会(主として学校)とうまく関わることができない青少年を対象に、種々の活動等を体験させることで、社会生活への適応力を育むことをねらいとして実施した。<br>【参加者】34名(参加児童生徒17名・保護者等17名)<br>【特記事項】適応指導教室、関係諸機関との連携を図った。 |
| 8  | 東毛キッズデイキャンプ<br>【実施日】<br>10月4日(日)   | 火起こし体験や棒巻きパンづくり、クラフト等の自然体験活動を通して、自然とふれあい、自然の恩恵に感謝する心、親しむ心を育むことを目的として、東毛キッズキャンプの代替えとして実施した。<br>【参加者】小学生8名                                       |
| 9  | とうもうオープンデー<br>【実施日】<br>11月3日(火)  | 野外炊事やクラフト等の諸活動を通して、県民に自然体験活動のよさを普及、啓発することをねらいとして実施した。<br>【参加者】県民(幼稚園児～一般・指導者) 378名   |
| 10 | 郷土の食文化シリーズ①<br>焼まんじゅうづくり<br>【実施日】<br>12月12日(土)   | 郷土の食文化である焼まんじゅうづくりを通して、県民に自然体験活動のよさを普及、啓発することをねらいとして実施した。<br>【参加者】家族・一般 30名  |
| 11 | おっきりこみとミニ門松づくり<br>「体験しよう!日本の伝統文化」<br>【実施日】<br>12月19日(土)中止                                      | 伝統文化を体験することで、子どもの感受性や自主性を育てる。また、共同作業により、親子のきずなを一層深める。<br>【募集人数】15家族  |

|    |   |  |
|----|---|--|
| 12 | 郷土の食文化シリーズ②<br>みそ田楽づくり<br>【実施日】<br>2月6日(土)中止        | 郷土の食文化であるみそ田楽づくりを通して、県民に自然体験活動のよさを普及、啓発する。<br>【募集人数】10家族                           |
| 13 | 石がま焼きピザづくり<br>「体験しよう！群馬の粉文化」<br>【実施日】<br>2月20日(土)中止 | ピザづくりを通して、親子・家族とのふれあいを深める。<br>また、粉からピザをつくることを通して群馬の粉文化理解の一助とする。<br>【募集人数】家族・一般 60名 |